

みずほCustomer Desk Report 2020/08/14号 (As of 2020/08/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.68
TKY 9:00AM	106.83	1.1796	125.95	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.05	1.1864	126.75	1.3049	0.7166
SYD-NY Low	106.57	1.1780	125.93	1.3125	0.7188
NY 5:00 PM	106.95	1.1814	126.35	1.3029	0.7137
				1.3068	0.7151
NY DOW	27,896.72	▲ 80.12	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	11,042.50	30.27	日本10年債	0.030	▲1.00bp
S&P	3,373.43	▲ 6.92	米国2年債	0.164	0.40bp
日経平均	23,249.61	405.65	米国5年債	0.319	2.07bp
TOPIX	1,624.15	18.62	米国10年債	0.717	4.45bp
シカゴ日経先物	23,210.00	5.00	独10年債	-0.4120	3.85bp
ロンドンFT	6,185.62	▲ 94.50	英10年債	0.2405	0.60bp
DAX	12,993.71	▲ 64.92	豪10年債	0.8940	▲2.90bp
ハンセン指数	25,230.67	▲ 13.35	USDJPY 1M Vol	6.14	▲0.32%
上海総合	3,320.73	1.46	USDJPY 3M Vol	7.90	▲0.10%
NY金	1,970.40	21.40	USDJPY 6M Vol	7.52	▲0.03%
WTI	42.24	▲ 0.43	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	148.94	0.58	EURJPY 3M Vol	8.13	0.10%
ドルインデックス	93.34	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	8.00	▲0.05%

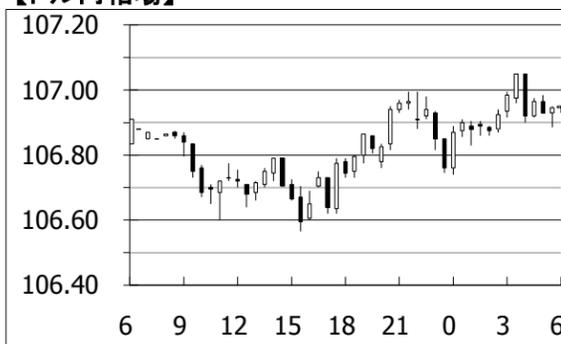
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月13日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	7月 114.7k/7.5%	30.0k/7.8%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 -0.5%/-0.1%	-0.5%/-0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8-Aug 963k	1100k

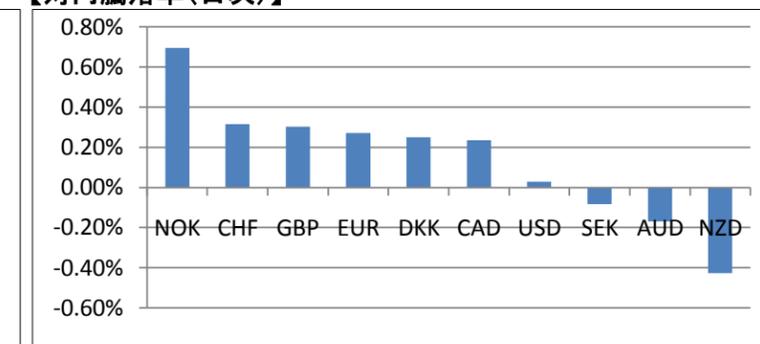
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	7月 0.1%/-1.6%/5.2%	-1.8%/-3.1%/4.8%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q -12.1%/-15%	-12.1%/-15%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	7月 2.1%	7.5%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 3.0%	5.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 72	72.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル/円相場について】

昨日のドル円は、アジア時間・ロンドン時間は米金利の伸び悩みもあり、106円後半水準で横ばい推移。NY時間には、米新規失業者保険申請件数が3月下旬以来初めて100万件を割り込む等予想を上回って改善したことで107円に迫る勢いで上昇。その後、米30年債の入札が低調だったことを背景に米金利が上昇し、一旦107円を越える展開を見せたが上値も重く、結局106円後半水準まで押し戻されてクローズした。本日は、米小売売上高の発表が予定されており、市場予想を上回る展開となれば、107円台を再び回復する可能性も想定されるが、米追加経済対策協議の難航懸念や、週末の米中閣僚級協議を控えて総じて方向感に乏しい展開を予想する。

アジア	東京時間のドル円は106.83レベルでオープン。日経平均株価が大幅高で寄り付いたことや、豪雇用統計が市場予想対比強い結果となったことで、対オセアニア通貨でドル売りが優勢となり、一時106.57まで下落した。その後は狭いレンジでの推移となり、結局106.60レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.60レベルでオープン。特段の材料はない中、クロス円の上昇につれてドル円も106.97円まで上昇し106.96レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3082レベルでオープン。新規材料は特になくドル売りが続いた。ポンドはもみ合いながら上昇を続け一時1.3111まで買われ1.3096レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は106円台後半でスタートし、米金利の伸び悩みを受けてドルが売られ、一時106.57まで下落。その後、特段のヘッジインや手掛かり材料は見当たらない中、ユーロ円やポンド円の上昇につれ高となり、106.97をつけ、106.96レベルでNYオープン。朝方は米金利が上昇したほか、米新規失業保険申請件数が予想以上に改善し、米国内でロックダウンが開始された3月中旬以降初めて100万件を下回ったことが伝わると、106.99まで上昇するも、他の通貨に対してドル買いが進まず、107円をつける前に失速し、106.74まで反落。しかし、クロス円の堅調な推移を受けてこの水準で下げ止まり、106.91まで値を戻す。午後は米30年債入札が不調だったことを背景に、米金利の上昇が加速したことからドル買いが強まり、107.05をつける。しかし、107円台では売り意欲もみられるほか、クロス円が利益確定の売りに圧迫され、106.89まで反落。終盤は小幅値を戻し、106.95レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.18台でじり高推移。米金利低下を眺めながら進んだドル売りや、ユーロ円の上昇がサポート材料となり、1.1854まで上昇し、1.1837レベルでNYオープン。朝方は米経済指標発表前のポジション調整の売りが先行し、1.1824まで下落。イベント通過後はユーロの買い戻しやリスク志向のドル売りが強まり、1.1864まで高値を更新するが、その後、利益確定の売りに1.18台前半まで下押し。午後は米金利が上昇し、米10年債利回りが6月24日以来の水準をつけるドル買いが強まり、一時的に1.1794まで下落。終盤は1.1816まで買い戻され、1.1814レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 中森・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	14